

ISOジャパンネットとは

関東に在住するISOの個人コンサルタント約20名をネットワークしています。殆どのコンサルタントが審査員、大手・中堅コンサルタント会社に登録しています。

この中で、実力、経験の十分な方のみをネットワークしております。個々には、紹介しませんが、事前に面談を希望される場合は、責任を持って選定し、面談する事が可能です。

運営主体

- ・ 南陽経営開発株式会社
- ・ 資本金1,000万円
- ・ さいたま市南区辻8-21-15-202
- ・ 代表者 西川俊文
- ・ 代表コンサルタント 西川俊文 中小企業診断士
- ・ 創業15年

代表コンサルタントプロフィール

西川俊文 中小企業診断士 ISOコンサルタント

1948年東京生まれ

大手企業を経て、1991年創業、指導約100社

2004年~2006年7月迄 審査会社役員

このホームページの真実

このホームページは、なぜ“ドラマ”や“物語”が多く語られているのか？また、ISOの中味そのものよりも、その「取り扱い」について、多く説明しているのは何故か？説明いたしましょう。

それは、ISOの規格・ルールを理解するよりも、遥かに重要だと思うからです。ISOは、一定の時間とお金を出せば、取得できます。

問題は、「ISOを我社にとって、如何に意味あるものにするか」です。

それには、たくさんの「取得の現場を経験している“プロ”の「成功・失敗体験」を事前により多く知る事」です。

ISOが、未知の世界である方には、「専門用語やISOのルール」は、理解を妨げるハードルです。

しかし、その細部に捕らわれていると「何のために」「どうやって」「弊社としては」という最も肝心なことが後回しになります。

弊社のためにISOを「使う」のです。「生かす」のです。

規格の解釈は「プロ」がやります。今考えることは、不要です。

「何の為に、どうやって、弊社としては」を 理解いただくために「ドラマ」を多くしました。

ちなみに、私は小説家ではありません。日頃文章は、書きますが「報告書」が殆んど。しかし、ISOの他のたくさんのホームページを見るに付け、「こんな事聞きたいんじゃないだろう？」と思うようになりました。

そこで、事実に基づいた「ドラマ」や【物語】こそ「ISOの真実」を最もリアルに理解できると考えたのです。

狙いは、成功したでしょうか？まだ分かりません？

人は、耳慣れない言葉でも「興味をそそられる印象的なエピソードが伴うと鮮明に記憶する」と考えます。「面白い！」は何の分野でも重要なキーワードです。

ISOのような「無味乾燥な世界」を楽しく、ワクワク理解する事はできないものか？このような想いで、このホームページの文章は作りました。

これが、「このホームページの真実」です！

ISOジャパンネット 代表 西川 俊文

コンサルスタッフ

我グループのコンサルタントは、すべて個人の資格で参加しております。
多くは、個人で活動すると同時に、大手・中堅のコンサルタント会社に登録しております。（約20名）実力のある方ばかりです。

具体的には、事前に面談希望の際、紹介いたします。

（例えば）

ISOコンサルタント

北川浩二さん（茨城県在住）

- ・ 指導社数 32社
- ・ ISO-9001、14001
- ・ 審査員、中小企業診断士
- ・ 中小企業の指導に定評があり、現場の人にわかりやすい指導で指名が多い。

Pマークコンサルタント

西岡鉄二さん（東京都在住）

- ・ 指導社数 15社
- ・ プライバシーマークコンサルタント
- ・ ISO-27001 (ISMS)
- ・ プライバシーマーク審査員
- ・ プライバシーマークについては完全合格保証のスタイルで、絶大な信頼を得ている。